QUALITY FOR LIFE

Mシリーズ車いす　取扱説明書

（M2，M3，M4）

目次

安全にお使いいただくために…… 3- 5
　必ずお読みください…… 3
　禁止事項！…… 3
　警告事項！…… 4
　注意事項！…… 5
　　介護する方への注意事項！…… 5
　　安全な走行のための注意事項！…… 5
使用目的…… 6
本製品の適応対象…… 6
取得規格…… 6
車いす各部名称…… 7
車いすの開閉方法…… 8
修理・お手入れ…… 9-10
　お手入れ方法…… 9
　空気入れについて…… 10
　お手入れ時の注意事項！…… 10
別添
基本操作（1）…… 別 1
基本操作（2）…… 別 2
基本操作（3）…… 別 3

安全にお使いいただくために

■　必ずお読みください。

ご使用前に必ず 安全にお使いいただくために を良くお読みなり正しくお使いください。

製品を安全にお使いいただき、ご利用者や他の方々への危害や、損害を未然に防止する為です。　お読みになった後も保管をお願いいたします。

禁止　（使用上の安全、品質保護の為の禁止行為です。必ず守ってください。）

◆ **車椅子の座面以外には座らないでください。**

➢ 転倒し、けがをする恐れがあります。

◆ **車いすの乗り降りの際には必ずブレーキをかけてから行ってください。**

➢ **転倒し、けがをする恐れがあります。**ブレーキを掛けていても動く事があります。車いすの乗り降りは充分注意してください。

◆ **フットプレートの上に立って乗り降りしないでください。**

➢ 転倒し、けがをする恐れがあります。　必ずフットプレートを跳ね上げ横に移動させてから乗り降りしてください。

◆ **走行中は身体を乗り出したりしないでください。**

➢ 転倒し、けがをする恐れがあります。

◆ **車いすを持ち上げる場合は、フットプレートやアームサポートなどを持たないで下さい。**

➢ フットプレート・アームサポートが抜けて、転倒、転落する恐れがあります。

◆ **２人乗りはしないでください。**

➢ 転倒し、けがをする恐れがあります。

◆ **バックサポート（プッシュハンドル）に重いものを掛けないでください。**

➢ 転倒し、けがをする恐れがあります。

◆ **障害物を無理に越えたり、ブレーキを効かせずにカーブを曲がるなど無理な使用はしないでください。**

➢ 転倒し、けがをする恐れがあります。

警告 （誤った取扱いをすると けがや故障の原因となります。）

周囲の人、物には充分注意してご使用ください。
道路で使用する場合は、必ず交通規則を守ってください。

◆ **夜間、雨天での走行は明るい色または蛍光色の服の装着、車いすの横と後ろにリフレクター（反射板**:工場出荷時に、フレーム後方と、ホイール取付けられています。）**を装備してください。**

➢ 装備をしないと通行者、車から判りにくくなり、事故の恐れがあります。

◆ **タイヤを持たずにハンドリムを使用して漕いでください。**

➢ タイヤをもって漕ぐとブレーキで指を挟む危険があります。

◆ **シートベルトをつけている場合は必ず装着してください。**

➢ シートベルトを着用しないと車いすからずり落ち、けがをする恐れがあります。

◆ **前方、後方、サイドの物を取る際は、車いすから乗り出して車いすが傾いたりしないよう充分注意してください。**

➢ 転倒し、けがをする恐れがあります。

◆ **この製品の耐荷重は下記のとおりです。 最大荷重を守ってご使用ください。**

機種	耐荷重
M2 Asia, M3 Asia（座奥行 40cm までのフレーム）	100kg
M2, M3	125kg
M6	90kg

➢ 事故や、変形・破損の原因になります。

◆ **火気を近づけないでください。また、火気を使用して高温になる場所、直射日光のあたる場所には放置しないでください。**

➢ シート部が燃えたり、熱くなった金属部でやけどする恐れがあります。

◆ **車いすに海水がかからないように注意してください。また砂や細かいごみが車軸へ入り込まないようにしてください。**

➢ 変形・破損の原因になります。

◆ **M シリーズはご使用に応じて調整が可能ですが、必ず担当の医師・理学療法士・作業療法士等の指示に従ってください。**

➢ けがや、変形・破損の原因になります。

注意　（より安全な使用、走行のため下記の注意点をお守りください。）

介護する方への注意事項！（介護する方は下記の事項にご注意ください。）

▲ 介護する際には、車いすに乗ったり寄りかかったりしないでください。

➢ 転倒し、けがをする恐れがあります。

▲ 走行中に搭乗者の身体の一部や衣服がタイヤ、スポーク、キャスターに挟まらないように安全を確認してから操作をして下さい。　また、搭乗者が地面、建物、通行者に接触したり、挟まらないように安全を確認して走行してください。

▲ 認知症（痴呆）の方の場合は車いすの部品、シート等を飲み込む事も考えられますので、注意してください。

安全な走行のための注意事項！（下記の事項を守り安全に走行してください。）

▲ 車いすに慣れていない方は、転倒防止装置（別売）の取付けをお勧めします。

▲ 転倒防止装置をホイールの代わりに使用することはおやめください。ホイールを外さなければならない状況では、トランスポートタイヤ（別売）をご使用ください。

▲ 上り坂では、後方への転倒を防ぐために、前方に体重をかけるようにして操作してください。

▲ エレベーターやリフトがない階段は、２人の介護者で階段を越えてください。

▲ リフトを使用される場合は必ず転倒防止装置を使用し、ブレーキをかけてください。

▲ 車いすに乗ったまま、車両（自動車、鉄道等）で移動する際や、平地でない場所に停止している間は必ずブレーキをかけてください。

▲ 車いすのスピードを素手により減速させると手が熱く感じることがあります。高速で回転しているハンドリムやタイヤに手が触れると、火傷や擦り傷などの危険があります。

▲ 屋外で車いすを使用される場合はグローブを着用してください。グローブは指を摩擦による熱、ハンドリムや泥から保護します。

使用目的

車いすMシリーズは、歩行のできない方や歩行障害をお持ちの方に自走用または介助用として用いられるものです。

- **保証は、本製品が規定の条件下で本来の目的のために使用された場合に限って有効です。**

本製品の適応対象

多種多様なオプションパーツとモジュラー機能によって、以下の原因により歩行不可能／歩行障害のある方にもご使用できます：

- 麻痺
- 切断
- 四肢機能障害
- 関節拘縮／関節障害
- 心・循環不全や平衡障害などの疾患

さらに個々の使用時には以下の点にもご注意ください。

- 身長と体重(各機種の耐荷重は、「警告」のページをご確認ください)
- 身体的・知的/精神的状態
- 年齢
- 住居環境
- 生活環境

車いす各部名称

ハンドル
バックサポート
アームサポート
ブレーキ
（左右にあります）
サイドパネル
フットサポート
シート
ホイール
ハンドリム
タイヤ
フットパネル
キャスター

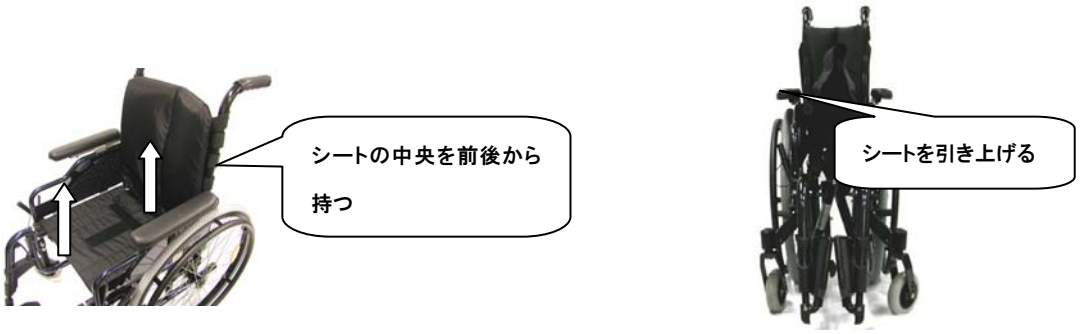
車いすの開閉方法

車いすは、先ず下記の手順に従って　開閉の操作を行ってください。
車いすを取扱う際は必ず、ハンドル、ハンドルの付いたフレーム、下肢の両脇のフレームのいずれかを握ってください。車いすを開閉する際は、指示された部分以外は触らないでください。

1. 車いすが開く際は、座シートが取り付けてある左右のパイプを上方から押し下げ、パイプがパイプ受けにしっかりはまるまで、シートを開いてください。
（下図参照）

2. シートが開いたら、フットプレートを下ろしてください。

3. 車いすを折りたたむ際は、まず左右のフットプレートを跳ね上げ、シートの中央を前後から持ち、引き上げるようにすると、折りたたみができます。
（下図参照）



修理・お手入れ

⚠不都合が生じた場合は、速やかに取扱店へお問合せください。

下記のチェック項目に基づいて定期点検を行ってください。
点検を怠ると、故障の原因となり、修理などが保証の対象にならない場合がありますのでご注意ください。

点検頻度 / 点検項目	毎　日	毎　週	毎　月
ブレーキ	◆		
ボルトのゆるみ		◆	
座シート／バックサポートのゆるみ			◆
タイヤ・キャスターの磨耗			◆
タイヤの空気圧（数値はタイヤに表示）			◆

※ 上記項目の点検結果、不具合や異常を感じた場合は、ただちにお買上げになった取扱店へご相談ください。

※ 車いすは３ヶ月に一度、お買上げになった取扱店でより詳しい点検を行うことをおすすめします。

お手入れ方法

- 車いすフレーム及びシートが汚れた場合は、家庭用中性洗剤で拭いてください。
- キャスターとキャスターフォークの間に毛髪やほこり等のごみが溜まった場合は、本体や各部に傷を付けないようにごみを取り除いてください。
- ホイールやキャスター、キャスター軸の回転が悪くなった場合は、速やかにお買い上げの取扱店にご相談ください。
  回転部に、むやみにオイルやスプレーをかけないでください。
- 雨などにより車いすが濡れた場合は、すぐに拭いて乾かしてください。

空気入れについて

1. 本製品は、米式の空気バルブを使用しています。空気を入れる際には、米式バルブに対応したポンプを使用するか、または変換アダプターを使用してください。
2. 空気を入れる際には、空気圧メータ付きのポンプをお勧めします。

お手入れ時の注意事項!

（お手入れ時は下記の項目に注意して車いすが安全に使用できる状態にしてください。）

- ▲ ハンドルの高さ調整機能が付いている場合は、ハンドルがしっかりと固定されていることを確認してください。
- ▲ エアータイヤを使用の場合、タイヤの空気圧により操作性やブレーキのかかり具合が変ります。常に空気圧が適正に調整されているよう心がけてください。 適正空気圧はタイヤの横面に表示されています。
- ▲ タイヤの溝が擦り減っていないことを確認してください。
- ▲ シートが破損した場合は、速やかに新しいシートと交換してください。
- ▲ 使用当初や調整後は、ボルト類がしっかり締まっているか確認してください。ボルトがゆるみ易い場合は、お買上げになった取扱店へご相談ください。
- ▲ 車いすのホイール位置が前方すぎる場合、不適合な車いすを使用している場合など、平地でも車いすが転倒する場合がありますのでご注意ください。
- ▲ 大腿切断者は、必ずホイールを後方へ取付けてご使用ください。

⚠ **車いすMシリーズはご使用に応じて調整が可能です。調整は、担当の医師・理学療法士及び医療専門家と相談の上、担当技術者により行ってください。**

製品に関するお問合せは

オットーボック・ジャパン株式会社
営業部

〒108-0023
東京都港区芝浦 4-4-44 横河ビル 8F
TEL: 03-3798-2111　FAX: 03-3798-2112
E-mail: ottobock@ottobock.co.jp
http//www.ottobock.co.jp